

クイックスタートガイド
'16.12

詳しい操作説明や本書の最新の内容については、本端末に搭載の『取扱説明書』アプリ（e トリセツ）またはドコモのホームページ掲載の『取扱説明書（PDF ファイル）』（<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/sc03g/index.html>）をご覧ください。

はじめに

「SC-03G」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について


本端末の操作は、本書のほかに、本端末用の取扱説明書アプリである「取扱説明書」で、さらに詳しく説明しています。

■ 「クイックスタートガイド」(本書)

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

■ 「取扱説明書」(本端末のアプリ)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ホーム画面で  → 「取扱説明書」をタップします。項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。
- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリのダウンロードとインストールをする必要があります。
- 「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で「Playストア」から「SC-03G 取扱説明書」で検索し、「取扱説明書」アプリをダウンロードしてください。

■ 「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ドコモのホームページでダウンロード
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/sc03g/index.html>

※ 「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です (P.30)。

(例) ディスプレイのホーム画面から、 (アプリアイコン)、 (Googleアイコン) を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で → 「Google」

- 本書の操作手順や画面は、主に初期状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書はホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。ホームアプリは、ホーム画面で「ホーム切替」をタップして切り替えられます。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-03G」を「本端末」、「Tab S 8.4専用Bluetooth[®]キーボード SC01」を「Bluetooth[®]キーボード」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

SC-03G本体
(保証書付き)



Tab S 8.4専用Bluetooth®
キーボード SC01
(保証書付き)



クイックスタートガイド (本書)



外付けワンセグアンテナ
ケーブル SC01




本端末に対応するオプション品(別売)は、ドコモのホームページをご覧ください。→ <https://www.nttdocomo.co.jp/product/option/>

目次

目次/ 注意事項	本体付属品	2
	本端末のご利用について	3
	安全上のご注意 (必ずお守りください)	5
	取り扱い上のご注意	18
ご使用前 の確認と 設定	各部の名称と機能	25
	ドコモ miniUIM カード	26
	充電	28
	電源を入れる/切る	29
	基本操作	30
	Bluetooth® キーボード	33
初期設定	37	
付録	トラブルシューティング (FAQ)	38
	端末初期化	42
	保証とアフターサービス	43
	ソフトウェアアップデート	45
	データ通信端末の比吸収率 (SAR) などについて	46
	輸出管理規制	51
	知的財産権	52
	SIM ロック解除	54

本端末のご利用について




- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM / GPRS・無線 LAN 方式に対応しています。
- 本端末は、音声通話およびデジタル通信 (テレビ電話、64K データ通信) には対応していません。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、Xi サービスエリアおよび FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強クアンテナマークが 4 本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は、FOMA プラスエリアおよび FOMA ハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSD カードやパソコンなどの外部記録媒体に保管していただくようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSD カードや本端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。

- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、ドコモnanoUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本端末は、iモードのサイト（番組）への接続やiアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末では、マナーモード中（パイプ、サイレント）でも、各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。ホーム画面で  → 「設定」 → 「一般」タブ → 「端末情報」 → 「ステータス」をタップします。

- 本端末のソフトウェアを最新の状態にすることができます。
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 利用規約などが表示された場合は、画面に従って操作してください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- テザリングのご利用には、パケットバック/パケット定額サービスの加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。


 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。


■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。


1. 本端末、アダプタ、Bluetooth®キーボード、外付けワンセグアンテナケーブル、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）……………P.6
2. 本端末の取り扱いについて……………P.8
3. アダプタの取り扱いについて……………P.11
4. Bluetooth®キーボードの取り扱いについて……………P.13
5. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて……………P.16
6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて……………P.16
7. 材質一覧……………P.17


1.本端末、アダプタ、Bluetooth®キーボード、外付けワンセグアンテナケーブル、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）


⚠ 危険

 高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

分解禁止



水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

水濡れ禁止 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

水濡れ禁止 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指示 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

禁止 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

禁止 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

禁止 火災、やけどなどの原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

指示 過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

指示

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

指示

- ・電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
- ・本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



破損したまま使用しないでください。

禁止

火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。

禁止


落下して、けがなどの原因となります。





湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。

 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
禁止 けがなどの原因となります。


 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
禁止 誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。


 本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる
指示 ことがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。
アプリ、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。


2. 本端末の取り扱いについて

危険

 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
禁止 内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
禁止 内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、
指示 すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
内蔵電池内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。

 ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、
指示 すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。
目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。

禁止



赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

禁止

赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。



ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止



自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。

禁止

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止



本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、ドコモminiUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

大きな音で通知音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

! 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
指示 医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

! 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
指示 電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

! ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
指示 破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

! 内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
指示 漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

! ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。
指示 内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

! 注意

⊘ モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
禁止 けがなどの事故の原因となります。

⊘ ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
禁止 目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診察を受けてください。

⊘ 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
禁止 発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

⊘ 内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
禁止 目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診察を受けてください。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

指示 車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については以下をご参照ください。

→ P.17「材質一覧」



本端末のスピーカー、外側カメラ、バイブレータ、モーター部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

指示 付着物により、けがなどの原因となります。



ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

指示 暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3.アダプタの取り扱いについて



警告



アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止



アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。



DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。感電などの原因となります。

禁止



コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

禁止


火災、やけど、感電などの原因となります。





アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。


禁止


火災、やけど、感電などの原因となります。


 コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。


 ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
禁止 発火、発熱、感電などの原因となります。


 本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
禁止 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


 濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
濡れ手禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。


 指定の電源、電圧で使用してください。
指示 また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

 DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指示 指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
指示 ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

 アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
指示 確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
指示 アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

 本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
指示 正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

指示

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。

電源プラグを抜く

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。

電源プラグを抜く

火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いて行ってください。

電源プラグを抜く

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



コンセントやアクセサリースOCKETにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

禁止

やけどなどの原因となります。

4. Bluetooth[®] キーボードの取り扱いについて

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

内蔵電池内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。

警告



濡れた手で Bluetooth® キーボードに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

濡れ手禁止



航空機へのご搭乗にあたり、Bluetooth® キーボードの電源を切ってください。

指示 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

指示 使用を禁止されている場所では、Bluetooth® キーボードの電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上

指示 で使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、Bluetooth® キーボードの電源を切ってください。

指示 電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

指示 漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から Bluetooth®

指示 キーボードを 15cm 以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

指示 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前にBluetooth®キーボードの電源を切ってください。

指示

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内におけるBluetooth®キーボードの使用については、各医療機関の指示に従ってください。

指示

医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

注意



一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となったBluetooth®キーボードは、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

禁止

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

指示

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



Bluetooth®キーボードの使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

指示

各箇所の材質については以下をご参照ください。

→ P.17「材質一覧」

5. ドコモ miniUIM カードの取り扱いについて

⚠ 注意

! ドコモ miniUIM カードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

指示 けがなどの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告

! 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

! 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

! 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近くおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源OFFなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

! 医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
指示 医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7. 材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(側面)	PC	非導電(透明塗料)
外装ケース(背面)	PC	非導電(透明塗料)
スピーカー	SUS304	PVDコーティング
カメラレンズ、フラッシュ/ライトパネル周囲部分	アルミニウム	陽極酸化処理
カメラレンズパネル	ガラス	AFコーティング
フラッシュ/ライトパネル	アクリル	—
電源/画面ロックキー、音量キー	アルミニウム	陽極酸化処理
ホームキー/指紋センサー(周囲部分)	アルミニウム	陽極酸化処理
ホームキー/指紋センサー(中央部分)	エポキシモールド化合物	UV塗装
ディスプレイ(タッチパネル)	強化ガラス	AFコーティング
赤外線ポート(IrLED)パネル	PC	—

使用箇所		使用材質	表面処理
microSDカードスロット		PC	非導電(透明塗料)
ドコモminiUIMカードスロット		PC	非導電(透明塗料)
ヘッドホン接続端子(周囲部分)		PC	—
外部接続端子		ステンレス	—
押し込みクリップ		PC	UV塗装
外付けワンセグアンテナケーブルSC01	接続プラグ(先端部)	真鍮、ABS樹脂	金メッキ
	接続プラグ(外装)	ABS樹脂、熱可塑性エラストマー	—
	ケーブル	熱可塑性エラストマー	—

使用箇所	使用材質	表面処理	
Tab S 8.4専用 Bluetooth® キーボード SCO1	外装ケース	PC	SFコーティング
	キーパッド	ABS樹脂	—
	ファスナークリップ	PC	PVDコーティング
	ロックボタン	PC	SFコーティング
	Bluetoothボタン	PC	SFコーティング
	緩衝部	POLY U/R	—
	側面部	PC	PVDコーティング
	リアケース	PC	SFコーティング
	外部接続端子	H/W	—
	電源スイッチ	PC	PVDコーティング
	底面すべり止め	シリコン	—

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をかけないでください。

本端末、アダプタ、Bluetooth®キーボード、外付けワンセグアンテナケーブル、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末などに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れて、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定のオプション品以外を使用した場合、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 本端末などを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- ディ스플레이の表面を強く押ししたり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
ディスプレイが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。
そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はmicroSDカードスロットカバー、ドコモ miniUIMカードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- 指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。
指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。

- microSD カードの使用中は、microSD カードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 近接・照度センサー部分をフィルムやシールなどでふさいだり、汚したりしないでください。
近接・照度センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
近接・照度センサーの位置は、以下をご参照ください。
⇒ P.25 「各部の名称と機能」
- 内蔵電池は消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
本端末が内蔵電池の膨らみによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

- 本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・ 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth® キーボードについてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、Bluetooth® キーボードは温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 磁気カードなどをBluetooth® キーボードに近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- Bluetooth® キーボードに磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- 内蔵電池は消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
本端末が内蔵電池の膨らみによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- Bluetooth® キーボードを保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・ 電池残量なしの状態（Bluetooth® キーボードの電源が入らない程消費している状態）での保管
 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として通知ランプが黄色の状態をおすすめします。
- Bluetooth® キーボードの内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

ドコモ miniUIMカードについてのお願い

- ドコモ miniUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモ miniUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモ miniUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモ miniUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- ドコモ miniUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- ドコモ miniUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。故障の原因となります。
- ドコモ miniUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末およびBluetooth[®] キーボードは、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末およびBluetooth[®] キーボードのBluetooth機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。


本端末




Bluetooth[®] キーボード



- 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- FH/DS/OF/XX : 変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDM、その他の方式であることを示します。
- 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- 8 : 想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

 : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

 : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth 機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線 LAN (WLAN) についてのごお願い

- 無線 LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線 LAN について
電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります (特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
 - ・ 近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
 - ・ WLAN を海外で利用する場合、ご利用の国によっては利用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz 機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 5GHz 機器使用上の注意事項

本端末は、5GHz の周波数帯において、5.2GHz帯(W52)、5.3GHz帯(W53)、5.6GHz帯(W56)の3種類の帯域を利用できます。

- ・ 5.2GHz帯 (W52 / 36、40、44、48ch)
- ・ 5.3GHz帯 (W53 / 52、56、60、64ch)
- ・ 5.6GHz帯 (W56 / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)


本端末に内蔵の無線LANを5.2GHz / 5.3GHz帯でご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。

電子銘板は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。

ホーム画面で  → 「設定」 → 「一般」タブ → 「端末情報」 → 「認証情報」

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

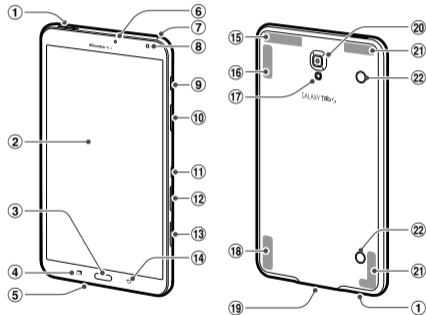
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

- データ通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



① スピーカー	② ディスプレイ (タッチスクリーン)
③ ○ ホームキー／指紋センサー	④ □ 履歴キー
⑤ ヘッドホン接続端子	⑥ 近接・照度センサー
⑦ マイク ^{*1}	⑧ 内側カメラ
⑨ ○ 電源／画面ロックキー	⑩ 音量キー
⑪ 赤外線ポート ^{*2}	⑫ microSDカードスロット
⑬ ドコモminiUIMカードスロット	⑭ □ バックキー
⑮ Wi-Fi / Bluetooth / GPS アンテナ ^{*3}	⑯ Wi-Fi アンテナ ^{*3}
⑰ フラッシュ／ライト	⑱ FOMA / Xiアンテナ ^{*3}
⑲ 外部接続端子	⑳ 外側カメラ
㉑ Xiアンテナ ^{*3}	㉒ 押し込みクリップ

※1 カメラでの音声コントロールによる撮影時や音声検索などでの音声入力時に動作します。

※2 「Peel Smart Remote」アプリでテレビなど他の機器を操作する際に使用します。赤外線通信によるデータの送受信はできません。

※3 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

お知らせ

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末のホームキーや外側カメラのレンズの周囲、および側面には端末保護のための透明な保護シートが付いています。ご使用の際は、必要に応じてお取り外しください。

ドコモ miniUIM カード

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、ドコモnanoUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが取り付けられていないと、本端末でメールの送受信、データ通信などの機能が利用できません。
- ドコモminiUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモminiUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

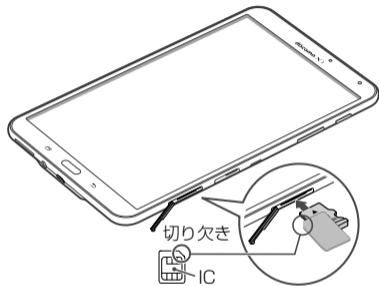
ドコモ miniUIM カードの取り付け／取り外し

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行ってください。

ドコモ miniUIM カードを取り付ける

- 1 ドコモminiUIMカードスロットカバーを開く
 - ミゾに指先をかけて、開けてください。

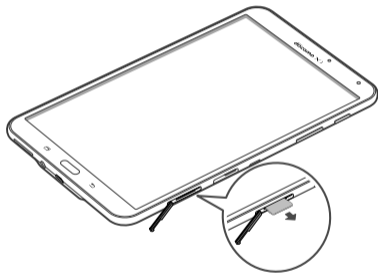
- 2** ドコモ miniUIM カードの IC 面を下にして、矢印の向きにカチッと音がするまでドコモ miniUIM カードスロットの奥に差し込む



- 3** ドコモ miniUIM カードスロットカバーを閉じ、本端末とすき間がないことを確認する

ドコモ miniUIM カードを取り外す

- 1** ドコモ miniUIM カードスロットカバーを開く
・ミゾに指先をかけて、開けてください。
- 2** ドコモ miniUIM カードをカチッと音がするまで押し込んでから離し、矢印の向きにまっすぐ引き出す



- 3** ドコモ miniUIM カードスロットカバーを閉じ、本端末とすき間がないことを確認する

お知らせ

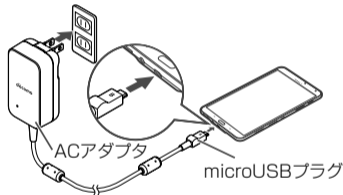
- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモminiUIMカードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモminiUIMカードはなくさないようご注意ください。

充電

ACアダプタ 03/04/05(別売)について、詳しくは該当の取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 05(別売)を使って充電する方法を説明します。




- 1 本端末の外部接続端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして水平に差し込む

- 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む
- 3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- 4 本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に引き抜く



microUSB接続ケーブルを使って充電する

microUSB接続ケーブル 01 (別売)を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。


- パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上にポップアップ画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 電力供給側の電圧が低い場合、ステータスバーに  が表示されます。充電は行われますが時間がかかります。また、本端末の状態により充電できない場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 1  (電源／画面ロックキー) を2秒以上押す
 - 起動画面が表示され、ロック画面が表示されます。
 - 初めて電源を入れた場合は、画面の指示に従って初期設定を行います (P.37)。
- 2  をタップ

電源を切る

- 1  (電源／画面ロックキー) を1秒以上押す
 - 電源OFF、機内モードの有効／無効、再起動の操作ができます。
- 2 「電源OFF」→「電源OFF」
 - 本端末が振動し、電源が切れます。

基本操作

タッチスクリーンの使いかた

本端末のタッチスクリーン(ディスプレイ)は、指で触れて操作できます。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します(タップ)。

また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します(ダブルタップ)。



■ スクロールする

表示内容を指で触れながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。



■ ピンチアウト／ピンチイン

表示されている画像やホームページなどを2本の指で触れながら、指の間隔を広げたり(ピンチアウト)、狭めたり(ピンチイン)して表示内容の拡大／縮小などができます。



■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。

■ ドラッグする

表示項目やアイコンなどを指で触れたまま移動します。

■ スワイプする

表示画面を指で軽くなぞる動作です。

■ フリックする

表示内容を指で触れながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。

設定を切り替える

設定項目にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定のON/OFFや有効/無効を切り替えることができます。

- はON、○ はOFFの状態です。
- ☑ は有効、☐ は無効の状態です。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末の縦／横の向きや傾きなどを感知するモーションセンサーによって、ディスプレイの表示方向を自動的に切り替えることができます。

1 通知パネルを表示する

2 「画面回転」

- ・ ONに設定されている場合は緑色で表示されます。

画面の表示内容を画像として保存する

表示中の画面を画像として保存(画面キャプチャ)できます。

1 画像として保存したい画面を表示

2 (ホームキー) と (電源／画面ロックキー) を同時に1秒以上押す

お知らせ

- ・一部のアプリでは画面キャプチャが動作しない場合があります。
- ・画面キャプチャした画像はpng形式で保存され、「ギャラリー」／「フォト」アプリで確認できます。

文字を入力する

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボード(Galaxy日本語キーボード)を表示し、キーボードのキーをタップします。

Galaxy日本語キーボードで入力する

Galaxy日本語キーボードは、「テンキー」と「QWERTYキーボード」の2種類のキーボードを利用できます。

- ・テンキー：携帯電話と同じ配列のキーボードです。1つのキーに複数の文字が割り当てられています。目的の文字が入力されるまでキーを数回タップするトルグル入力またはキーをフリックして入力するフリック入力ができます。
- ・QWERTYキーボード：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。



テンキー



QWERTYキーボード


- ① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- ② 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます（フリック入力時は切り替わりません）。
 - 文字が入力されていない場合は、表示されているキーの操作を実行します。

ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。選択したアイコンメニューがキーボードに反映されます。

- 🗣️：音声入力に切り替え
- ✍️：手書き入力キーボードに切り替え
- 📄：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
- ⚙️：Galaxy日本語キーボードの設定メニューを表示
- 📱：画面下部に固定される標準キーボードまたは自由に移動できるフローティングキーボードに切り替え

- ③ カーソルを左または右に移動します。
- ④ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補が表示されます。
- ⑤ ひらがな漢字／英字入力モードに切り替えます。
- ⑥ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
- ⑦ 通常変換候補を表示します。
- ⑧ 入力した文字を確定します。
- ⑨ 濁点や半濁点を付けたり、文字を大文字／小文字に切り替えたりします。
- ⑩ 表示されているキーの操作を実行します。
 - ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。選択したアイコンメニューがキーボードに反映されます。
 - 🗣️：音声入力に切り替え
 - ✍️：手書き入力キーボードに切り替え
 - ⚙️：Galaxy日本語キーボードの設定メニューを表示
 - 📱：画面下部に固定される標準キーボードまたは自由に移動できるフローティングキーボードに切り替え
- ⑪ 記号入力モードに切り替えます。
- ⑫ クリップボードを表示します。

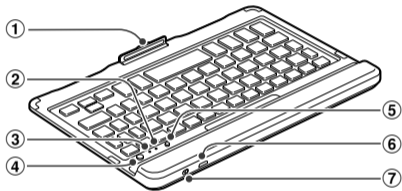
お知らせ


- キーボード表示中に  → 「テンキー⇄QWERTYキーボード」 → 「テンキー」/「QWERTYキーボード」 → 「OK」をタップすると、キーボードの種類を切り替えられます。

Bluetooth[®] キーボード

Bluetooth[®]キーボードについて、詳しくは「取扱説明書」(本端末のアプリまたはPDFファイル)をご覧ください。

各部の名称と機能



- ① **ファスナークリップ**
 - 本端末を収納するときに固定します。
- ② ** Caps Lock ランプ**
 - Caps Lockキーがオンのときに青色に点灯します。

③ 通知ランプ

- 点灯／点滅してBluetooth®キーボードの状態をお知らせします。

動作	説明
赤色で点灯	充電中
緑色で点灯	充電完了
青色で点滅*	接続要求中
赤緑青色の順に点灯	登録待ち状態
青赤色の順に1回点滅	電源OFF時

* 接続されると早く点滅した後消灯します。

④ Bluetoothボタン

- 3秒以上押すと登録待ち状態になります。

⑤ ロックボタン

- 本端末を収納すると押されます。3秒以上押されると、接続している本端末の画面がオフになるか、またはロック状態になります。また、Bluetooth接続が無効となります。ロックボタンが押されなくなるとBluetooth接続が自動的に回復します。

⑥ 外部接続端子

⑦ 電源スイッチ

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源スイッチをON側にスライドする



電源を切る

1 電源スイッチをOFF側にスライドする

本端末を使用する

本端末を取り付ける

- 1 本端末の電源／画面ロックキーを上にして、Bluetooth® キーボードのミゾに合わせて矢印の方向に取り付ける

・正しく取り付けられていないと転倒する恐れがあります。

電源／画面ロックキー



本端末を取り外す

- 1 本端末を Bluetooth® キーボードから持ち上げる

本端末とペアリングする

Bluetooth®キーボードをご利用いただくために、本端末とペアリング（接続設定）を行って本端末に登録し、接続します。

1 Bluetooth®キーボードの電源を入れる

- ・通知ランプが赤緑青色の順に点灯します。
- ・通知ランプが青色で点滅している場合は、Bluetooth®キーボードのBluetoothボタンを3秒以上押してください。

2 本端末のホーム画面で → 「設定」 → 「接続」 タブ → 「Bluetooth」

3 をタップ

- ・検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。
- ・表示されない場合は「スキャン」をタップして再度検索します。

4 検出結果から、Bluetooth®キーボードを選択する

- ・接続可能デバイスに「Samsung Bluetooth Keyboard EJ-CT700」と表示されます。

5 本端末の画面に表示される6桁の数字（パスコード）をBluetooth®キーボードから入力してEnterキーを押す

- ・ペアリングが完了すると、ペアリング済みデバイスにBluetooth®キーボード名が表示されます。

お知らせ

- ・一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスコードの入力は不要になります。
- ・Bluetooth®キーボードと接続している間は、本端末のキーボードは表示されません。

初期設定

電源を入れた後に「ようこそ」と表示されたときは、画面の指示に従って、使用する言語やGoogle／Galaxyアカウントなどの設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。

1 「スタート」

- 言語を変更する場合は、「日本語」→ 使用する言語をタップします。
- ユーザー補助設定を変更する場合は、「ユーザー補助」→ ユーザー補助を設定します。

2 以降、画面の指示に従って初期設定を行う

付録

トラブルシューティング (FAQ)


故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>

- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。



□ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない(本端末が使えない)	• 電池切れになっていませんか。 → P.28
画面が動かない、電源が切れない	• 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に  (電源/画面ロックキー) と音量キーの下側を8～10秒間押し、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。


□ 充電

症状	チェック項目
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。 アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 microUSB 接続ケーブル 01 (別売) をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

□ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> 操作中や充電中、また、充電しながらアプリやテレビ視聴などを長時間行った場合などには、本端末やアダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> 圏外状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるような電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合せ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチスクリーンをタップしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 画面ロックが設定されていませんか。  (電源/画面ロックキー) /  (ホームキー) を押して画面ロックを解除してください。

症状	チェック項目
ドコモminiUIMカードが認識されない	<ul style="list-style-type: none"> ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。 → P.26
時計がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「自動日時設定」が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

症状	チェック項目
端末動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード（初期状態に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から （電源／画面ロックキー）を2秒以上押し、docomoのロゴが消えた後、音量キーの下側を押し続けてください。 ※ セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 アプリやウィジェットによっては消去される場合があります。 セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXXは停止しました。／プロセスXXXXは停止しました。*	本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」／「OK」をタップしてから再度操作してください。	—
しばらくお待ちください(音声サービス)／しばらくお待ちください(データサービス)	通信回線においてアクセスが集中しているため、通信規制がかかっているときに表示されます。規制が解除されてから再度操作してください。	—
空き容量わずか 端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。不要なデータやアプリを削除してください。	システムメモリ(本体)の空き容量が低下したときに表示されます。このままご使用になられると一部機能やアプリが動作しない場合があります。アプリやメディアコンテンツなどのデータを削除して、空き容量を確保してください。	—

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
ソフトウェアを更新できません。ネットワークまたはサーバーエラーが発生しました。後ほどお試しください。	サーバーとの通信に失敗しました。しばらく時間をおいてから操作をやり直すか、「Galaxy Smart Switch」を使ってお試しください。	—
カメラを起動できませんでした。／温度上昇を検知したため、カメラを終了します。	カメラの起動に失敗したとき、または端末の温度が上昇したためカメラを終了したときに表示されます。しばらく時間をおいてから操作をやり直すか、本端末の電源を入れ直してください。	P.29
ビルトインアプリを無効にすると、他のアプリでエラーが発生する原因になります。	アプリを無効化すると、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。「OK」をタップして無効化し、他のアプリが正しく動作しなくなった場合は、アプリを有効化してください。	—
ブラウザは停止しました。	ブラウザにエラーが発生したときに表示されます。「OK」をタップし、しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	—


エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
証明書が見つかりません	SSLを利用したウェブページから要求される証明書が、本端末にない場合に表示されます。対応する証明書を本端末にインストールしてください。	—
証明書ベースの認証に失敗しました	SSLを利用したウェブページから証明書を要求されていますが、本端末に保存されている証明書では承認されない場合などに表示されます。対応する証明書を本端末にインストールしてください。	—

※ XXXXには、エラーが発生したアプリや機能の名称などが表示されます。

端末初期化

本端末を初期状態にリセットします。

- microSDカードに保存されているデータは削除されません。削除する場合は、「外部SDカードを初期化」を行ってください。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「一般」タブ → 「バックアップとリセット」 → 「工場出荷状態に初期化」 → 「端末リセット」 → 「全て削除」

お知らせ

- 端末リセットを行うと、本端末に保存されている音楽や写真などのすべてのデータが削除されますのでご注意ください。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ※ 外付けワンセグアンテナケーブル SC01は無料修理保証の対象外となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
 - ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合
- ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の以下の箇所に磁気が発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：スピーカー、受話口、外側カメラ、パイプレータ（ドコモ miniUIM カードスロット上部付近）、モーター部（外側カメラ側の押し込みクリップ付近）
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

インターネット上のダウンロードサイトから本端末のアップデートファイルをダウンロードし、ソフトウェアのアップデートを行います。ソフトウェアアップデートの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

データ通信端末の比吸収率 (SAR) などについて

データ通信端末の比吸収率 (SAR)

この機種 [SC-03G] は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準 (※1) ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) で定めており、本データ通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末の SAR の最大値は 1.631W/kg (※2) です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

SAMSUNG のホームページ

<http://www.samsung.com/sar/sarMain.do>

→ LOCATION 欄で「JAPAN」→ Phone Model 欄で「SC-03G」

→ 「GO」

※1 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第 14 条の 2) で規定されています。

※2 Xi/FOMA と同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Data Communication Terminals

This model [SC-O3G] device complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This device was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for Data Communication Terminals is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 1.631 W/kg (*2).

There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this device while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

During communication, please keep the device farther than 1.5 cm away from your body without including any metals. This device satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:
<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>
(in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

Samsung Electronics Co., Ltd. Website:
<http://www.samsung.com/sar/sarMain.do>
→ Select location from "LOCATION" → Type "SC-03G" in
Phone Model field → "GO"

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial
Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio
Equipment Regulations).

*2 Including other radio systems that can be simultaneously
used with Xi/FOMA.

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model when tested for use at the body is 1.57 W/kg.

Body-worn operation

For body worn operation, this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Body-worn SAR testing has been carried out at a separation distance of 0 cm. To meet RF exposure guidelines during body-worn operation, the device should be positioned at least this distance away from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID A3LSC03G.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at <http://www.ctia.org/>.

European RF Exposure Information

Your device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the body was 0.979 W/kg*.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

Product details

For the following

Product : GSM WCDMA LTE BT/Wi-Fi
Portable Device

Model(s) : SC-03G

CE 0168

Declaration & Applicable standards

We hereby declare, that the product above is in compliance with the essential requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC) by application of:

SAFETY	EN 60950-1:2006 + A11:2009 + A1:2010 + A12:2011	
SAR	EN 50566 : 2013 EN 62479 : 2010	EN 62209-2 : 2010
EMC	EN 301 489-1 V1.9.2 (09-2011) EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010) EN 301 489-7 V1.3.1 (11-2005) EN 55024 : 2010	EN 301 489-17 V2.2.1 (09-2012) EN 301 489-3 V1.6.1 (08-2013) EN 55022 : 2010
RADIO	EN 300 328 V1.8.1 (06-2012) EN 300 440-2 V1.4.1 (08-2010) EN 301 893 V1.7.1 (06-2012) EN 301 908-13 V6.2.1 (10-2013)	EN 300 440-1 V1.6.1 (08-2010) EN 301 511 V9.0.2 (03-2003) EN 301 908-1 V6.2.1 (04-2013) EN 301 908-2 V6.2.1 (10-2013)

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment by application of EN 50581:2012.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[IV] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

TÜV SÜD BABT, Octagon House, Concorde Way, Fareham,
Hampshire, PO15 5RL, UK *
Identification mark: 0168

Representative in the EU

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park
Saxony Way, Yateley, Hampshire
GU46 6GG, UK *

2014.11.24

(Place and date of issue)



Stephen Colclough / EU Representative

(Name and signature of authorised person)

* This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものに付きましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

- 「Xi」「Xi / クロッシィ」「FOMA」「iモード」「iアプリ」「mopera U」「ビジネスmopera」「spモード」「eトリセツ」「dメニュー」および「Xi」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved.



- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国 Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。



その他

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Windows 10 Home, Pro, Enterprise, Education)の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1 (Windows 8.1, Pro)の略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate)の略です。
 - Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic, Home Premium, Business, Enterprise, Ultimate)の略です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

MEMO

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

プライバシーに配慮しましょう

- カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

- 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。
- スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話PHSのリサイクルにご協力ください。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

オンラインでの各種お手続き・ご契約内容の確認など

本端末から dメニュー→My docomo (お客様サポート) →
ドコモオンライン手続き

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>) →「ドコモオンライン手続き」内の項目を選択

- ・ システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- ・ 「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「ID /パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示 **-81-3-6832-6600 (無料)**

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※ 「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■ 一般電話などからの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6832-6600 (無料)**

※ 日本向け通話料がかかります。


※ 国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
(ドコモ インフォメーションセンター)

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00 ~ 午後8:00 (年中無休)


●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※ 一般電話などからはご利用になりません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



危険です、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電



Li-ion 00



この取扱説明書は大豆油
インキで印刷しています。

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 Samsung Electronics Co.,Ltd.

'16.12 (3版)
GH68-42784A Rev.1.2
Japanese. 12/2016

